

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について
本大会は、2014年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行なう。
2. 競技について
 - 1)トラック競技の走路順、およびフィールド競技の試技順はプログラム記載の順とする。
 - 2)男女スプリントトライアスロンの400mについては、200m終了後、番組編成を行う。
番組編成は総合得点の低いものから1組とする。
 - 3)走高跳のバーの上げ方については以下の通りとする。
八種競技 最初に跳ぶ高さを第1日目出場確認の時に、開始の高さを申し出ること。
開始の高さにより2組に編成し、それぞれ開始の高さを決める。
両組ともに練習の高さから、5cmずつあげる。
1m85以降は3cmずつあげる。
七種競技 最初に跳ぶ高さを第1日目出場確認の時に、開始の高さを申し出ること。
開始の高さにより2組に編成し、それぞれ開始の高さを決める。
両組ともに練習の高さから、5cmずつあげる。
1m55以降は3cmずつあげる。
 - 4)七種800mは一組12～15名のオープンスタートとする。
3. 招集について
 - 1)招集場は雨天練習場におく。
 - 2)八種競技、七種競技は両日とも朝8時00分～8時15分までに1階ロビーにて出場の確認すること。
以後の招集は、招集時刻にトラックはスタート地点に、フィールドは競技場所に集合すること。
 - 3)スプリントトライアスロンは、朝8時00分～15分までに1階ロビーにて出場の確認すること。
以後の招集は自分の組、レーンを確認の上、招集時刻に各スタート地点に集合すること。
※各種目を途中で棄権する場合は、必ずその旨、大会総務へ申し出ること。
4. ナンバーカードについて
 - 1)ナンバーカードはそのままの大きさで、胸および背部に確実につけること。
ただし、跳躍競技は胸部背部のどちらか一方でもよい。
 - 2)トラック競技においては、各校で用意した腰ナンバーを右腰やや後方につけること。
なお、八種1500m、七種800mについては大会本部で用意し、スタート地点で渡す。
5. 競技用具について
競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用すること。
ただし、やりについては各自のものを使用してもよいが、必ず検査を受けること。
やりの検査は競技開始1時間前から20分間、100mゴール側用器具倉庫で行なう。
検査時間 男子 8:15～8:35
 女子 11:00～11:20
6. 表彰について
各種目の優勝者にはトロフィーを授与しその栄誉を称える。
男女スプリントトライアスロンについては、1年生で最上位の者にルーキー賞を贈る。
7. 練習はサブトラックは借用していないので、メインで競技に支障のないところで行うこと。